

I・TOP 横浜ラボ「コロナ禍における商業施設や市場の活性化」 横浜南部市場で実施予定の提案を採択しました



横浜市は「I・TOP 横浜」を通じて、IoT や AI などのテクノロジーを活用した生産性向上や社会課題の解決への貢献、新たなビジネスモデルの創出に取り組んでいます。

この度、「横浜南部市場（商業施設及び市場）」を実証フィールドとし、コロナ禍における商業施設及び市場の効率的な施設運営の実現、更なる賑わい創出など、商業施設及び市場に新たな価値をもたらす製品・サービスの提案を「I・TOP 横浜ラボ」の取組として募集し、9件の提案を採択しました。

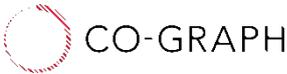
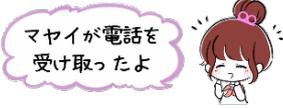
今後、施設関係者と実証実験実施に向けた調整を行ったうえで、準備が整った取組から順次開始します。

1 募集内容

件名	「コロナ禍における商業施設や市場の活性化」に関するプロジェクト創出支援
提案内容	商業施設及び市場を対象とした製品・サービス
実証実験実施時期	採択後順次実施（令和4年度中を予定）
実証実験場所	横浜南部市場（賑わいエリア(商業施設)・物流エリア(市場)) 所在地：横浜市金沢区鳥浜町1-1

2 採択提案（全9件）※50音順

企業・団体名	事業名・実証実験概要・実証実験時期（予定）	
	【エッジ型 AI アプリケーション事業】 カメラ撮影画像の AI 解析により、人流データ・交通量データを取得することで、現状の来客数や、今後の渋滞対策の検討に向けた現状把握が可能となる。	
	開始時期	

企業・団体名	事業名・実証実験概要・実証実験時期（予定）	
<p>WED 株式会社</p> 	<p>【レシート買取アプリ「ONE」を活用した消費喚起施策】</p> <p>レシート買取アプリ「ONE」を通じて、買い物客の属性情報と商品の購入履歴に関するデータ（＝レシート）を一体的に収集することで、南部市場の買い物客の特徴や商圈の分析（マーケティング分析）が可能となる。</p>  <p>たった10秒でレシートが現金に変わる！ レシート買取アプリ ONE</p> <p>お買い物でもらったレシートを撮影するだけでお金が増えるサービスです。</p> <p>開始時期</p> <p>令和4年9月頃開始（予定）</p>	
<p>コグラフ株式会社</p> 	<p>【AI 電話番「マイイ」】</p> <p>電話一次対応の24時間カンタン代行システム。架電者の要件を確認して録音し、メールやチャットツールを介して録音メッセージが担当者に通知され、予約や注文の電話を逃さず繁忙時間帯の電話応対負荷を軽減する。</p>  <p>マイイが電話を受け取ったよ</p> <p>開始時期</p> <p>令和4年9月頃開始（予定）</p>	
<p>セーフィー株式会社</p> 	<p>【クラウドカメラによる店舗利用状況確認】</p> <p>カメラ映像のAI解析により、店舗の賑わい・混雑状況のデータ(統計データ)を取得、可視化し、利用者の体験向上に役立てる。</p>  <p>開始時期</p> <p>令和4年8月8日開始（予定）</p>	
<p>東京システムハウス株式会社</p> 	<p>【Macitta（マチータ）回覧板アプリ】</p> <p>必要な情報を必要なターゲットに伝達・周知することに特化した回覧板アプリを用いて、コミュニティ内での情報共有、意見集約の効率化を目指す。</p>  <p>Macitta マチータ 回覧板</p> <p>開始時期</p> <p>令和4年8月1日開始（予定）</p>	
<p>株式会社ニフコ</p> 	<p>【電池レスデバイスを活用したIoTサービス事業】</p> <p>電池レスデバイスを通じて、個室トイレのドアの開閉を遠隔で取得するとともに、トイレの入口に設置したモニターに満室・空室の状況を表示し他のトイレへの効果的な誘導を行うことで、トイレの待ち行列が減り、顧客満足度の向上につなげる。</p>  <p>開始時期</p> <p>令和4年9月頃開始（予定）</p>	
<p>株式会社ビジネス・プロGRESS</p> 	<p>【イラストマップによる商業施設検索サービス】</p> <p>商業施設内において、訪問客が行きたい店舗・売り場をイラストマップ上で検索できるようにすることで、顧客満足度向上と商業施設の客数増加を図る。</p>  <p>開始時期</p> <p>令和4年10月頃開始（予定）</p>	

企業・団体名	事業名・実証実験概要・実証実験時期（予定）	
<p>古河電気工業株式会社 コンチネンタル・オートモーティブ株式会社（2社合同提案）</p> <p>古河電工</p> <p>Continental</p>	<p>【インテリジェント歩道 / インテリジェント・インターセクション】 車両と歩行者の動きを検出するセンサーやセンサーと連動した光・音声デバイスを通じて、歩行者や車両に危険を知らせることで、歩行者・車両の安全な空間創出を実現する。</p> 	
	開始時期	令和4年10月頃開始（予定）
<p>三菱電機株式会社</p> <p>MITSUBISHI ELECTRIC Changes for the Better</p>	<p>【群集案内・誘導サービス】 カメラ撮影画像の AI 解析による施設の混雑状況の把握と、可動式のサインージを通じた情報提供による誘導で集客促進を図り、顧客満足度向上を実現する。</p> 	
	開始時期	令和4年10月頃開始（予定）

※ 9月以降に実施予定の実証実験については、開始時期について別途リリースを行います。

お問合せ先
<p>【提案内容、I □ TOP 横浜に関すること】経済局産業連携推進課担当課長 松本 圭市 Tel 045-671-3591 【横浜南部市場に関すること】 経済局中央卸売市場本場運営調整課長 原 弘岳 Tel 045-459-3321</p>

別紙あり

【参考】

横浜南部市場について

昭和48年11月に開設した南部市場は、市場の再編・機能強化に伴い、中央卸売市場本場を補完する「物流エリア（市場）」と、民間事業者のノウハウを活用した「食」をコンセプトとする「賑わいエリア（商業施設）」に分けて再整備されました。

令和元年の複合商業施設「ランチ横浜南部市場」開業とともに、「横浜南部市場 食の専門店街（旧名称：食品関連卸売センター）」もリニューアルされ、『物流』と『にぎわい』を合わせ持つ、横浜南部市場に生まれ変わりました。

【主な施設】 「物流エリア」 青果棟、水産棟、花き棟など
「賑わいエリア」 ランチ横浜南部市場、食の専門店街

I・TOP横浜（IoTオープンイノベーション・パートナーズ）について

【I・TOP横浜（IoTオープンイノベーション・パートナーズ）とは】

横浜経済の強みである「ものづくり・IT産業の集積」を活かし、IoT等（IoT、ビッグデータ、AI、ロボット等）を活用したビジネス創出に向けた、交流・連携、プロジェクト推進、人材育成等を包括的に進めていくプラットフォームです。これらの取組から個別プロジェクトを立ち上げ、「新たなビジネスモデル創出」、「中小企業のチャレンジ支援」、「社会課題解決への貢献」を目標としています。



I・TOP横浜ウェブサイト
<https://itop.yokohama/>

I・TOP横浜ラボとは

「I・TOP横浜」の取組の一つで、実証実験の機会やフィールドの提供主体とともに、解決を目指す課題を設定し、I・TOP横浜参画企業から課題に沿った提案の募集等を行い、実証実験を通じて、社会課題の解決や製品化・サービス化を目指します。

I・TOP横浜ラボ

I・TOP横浜ラボでは、実証実験の機会・場の提供を行うフィールド提供主体とともに、解決を目指す課題を設定し、I・TOP横浜参画企業から課題に沿った提案を募集します。

提案については、横浜市、フィールド提供主体による審査・採択を行い、採択された提案は、実証実験を行うとともに、社会課題の解決、製品化・サービス化を目指します。

実証フィールドの提供
(例、横浜市の関連施設、市内事業所)

実証実験の提案募集

提案の採択

実証実験実施